

後発医薬品の使用促進策の影響 及び実施状況調査報告書(案) ＜概要＞

調査の概要 ①

1 調査の目的

- 令和6年度診療報酬改定を受けたバイオ後続品を含む後発医薬品の使用促進策や長期収載品の保険給付の見直しにより、
 - ・ 保険薬局における一般名処方に記載された処方箋の受付状況、後発医薬品の調剤状況や備蓄状況、保険医療機関における一般名処方の実施状況、後発医薬品の使用状況や医師の処方などについて、医薬品の供給状況等の環境の変化も加味し、どのように変化したのか
 - ・ 医師、歯科医師、薬剤師及び患者の後発医薬品に対する意識について、令和6年度に引き続き調査・検討を行った。

2 調査の方法

- 「保険薬局調査」、「病院調査」、「一般診療所調査」、「歯科診療所調査」、「医師調査」、「患者調査（郵送・インターネット調査）」について実施。
- 「保険薬局調査」、「病院調査」、「一般診療所調査」、「歯科診療所調査」では、自記式調査票を郵送にて対象施設に配布。対象施設では、①調査票を郵送で返送する方法、②調査専用のウェブサイトからダウンロードした電子調査票をメールで回答する方法、の2種類の回答方法から選択して回答。
- 「医師調査」「患者調査（郵送調査）」は、調査対象施設を經由して調査票を配布。調査対象者は、①調査票を郵送で返信する方法、②Webから回答する方法、の2種類の回答方法から選択して回答。
- 「患者調査（インターネット調査）」はインターネット上で回答をいただく方法とした。

調査の概要 ②

3 調査の対象

○ 調査対象・件数は以下のとおり

調査種類	調査対象・回答者	調査件数	抽出条件(抽出率)
保険薬局調査	・ 特段の条件なし (A)	1,500件	無作為(2.4%)
病院調査	・ 特段の条件なし (B)	1,000件	無作為(12.5%)
一般診療所調査	・ 特段の条件なし (C)	1,500件	無作為(1.7%)
歯科診療所調査	・ 特段の条件なし (D)	1,500件	無作為(2.3%)
医師調査※1	・ 外来診療を担当する医師	最大2,000件 (1施設につき2名)	無作為
患者調査※2	・ 調査期間中に、上記(A)の保険薬局を受診した患者	最大3,000件 (1施設につき2名)	無作為
患者調査 (インターネット調査)	・ 直近3か月間で保険薬局に処方箋を持って来局した患者	5,000件	層別抽出 (全国の性年齢階級で比例割付)

※1 医師調査は、病院調査の対象施設から1施設あたり外来診療を担当する医師2名(診療科の異なる医師)を抽出

※2 患者調査は、保険薬局調査の対象施設に来局した患者から1施設あたり患者2名を抽出

(特定の1日を調査日とし、当該日において午前・午後にそれぞれ最初に来局された患者で、調査協力についてご本人の同意が得られた方)

調査の概要③

4 回収の状況

- 調査実施時期は令和7年8月4日から9月16日(「患者調査(インターネット調査)」は令和7年8月28日から9月8日)であった。
- 有効回答率及び調査票ページ数は以下のとおり。

		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
保険薬局調査	ページ数	12p	14p	16p	9p	8p	8p
	有効回答率	47.4%	46.1%	32.1%	52.8%	40.7%	45.9%
病院調査	ページ数	12p	14p	14p	11p	10p	9p
	有効回答率	24.6%	29.3%	20.4%	29.6%	22.9%	22.1%
一般診療所調査	ページ数	13p	15p	16p	11p	12p	10p
	有効回答率	35.7%	35.9%	26.6%	37.5%	33.9%	25.5%
歯科診療所調査	ページ数	-	-	-	3p	4p	3p
	有効回答率	-	-	-	49.9%	48.0%	41.8%
医師調査	ページ数	10p	11p	12p	5p	6p	6p
	有効回答数	-	-	-	-	-	- (306件)
患者調査(郵送)	ページ数	6p	6p	6p	4p	5p	5p
	有効回答数	-	-	-	-	-	- (823件)

※ 医師調査、患者調査(郵送調査)については、病院・診療所や薬局から何部配布されたかが正確に把握できない方法で調査を行っていることから、発送数と有効回答率の表記を行っていない。

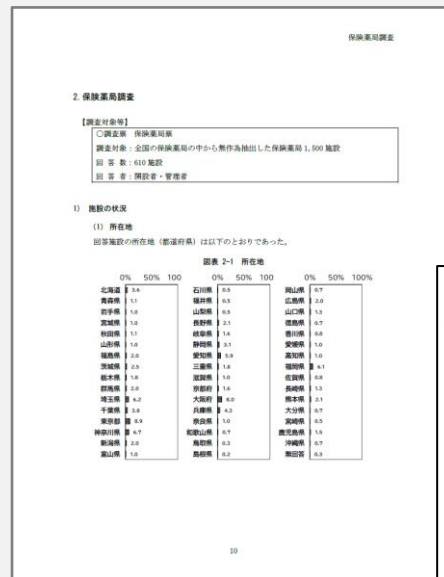
また、患者調査(インターネット調査)については、回答数が5,000件になるまで回収を続けるという他との調査とは異なる方式で調査を行っていることから、発送数、有効回答率の一覧に含めていない。

(参考) 報告書の構成の変更

- 報告書本文には、主要論点となる集計結果のみを抜粋して図表・説明文を掲載。また、報告書本文とは別に全ての集計結果について図表のみで構成する参考資料を作成。

これまでの報告書

- 全ての調査結果を説明文とともに掲載



- 全ての設問について
グラフと説明文を記載

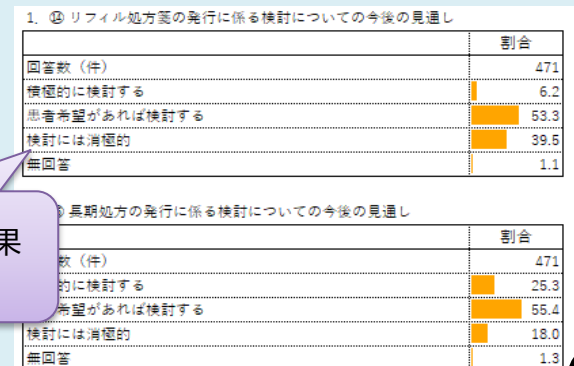
今回の報告書

- ① 報告書本文イメージ



- 主要な調査結果を抜粋し、
説明文とともに掲載

- ② 参考資料イメージ



- 参考資料は集計結果
のみ掲載